

臨床実習

歯科薬剤学 (薬局)

《担当者名》准教授 / 岩尾 一生 iwao@

【概要】

歯科臨床で常用されている医薬品について概説し、個々の患者の歯科疾患のみならず全身状態をも正しく評価し、適切な処方を組み立て、処方箋として発行できる。

【学修目標】

抗菌薬や抗炎症薬の特長について概説し、歯科薬物療法に応用する。
医薬品集などを用いて、処方箋を発行する。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|-----------------------------------|--|-------|
| | 歯科常用医薬品医薬品概説 処方箋と処方 処方の組み立て | 歯科医療で常用される抗菌薬、抗炎症薬の特長を概説できる。 正しい処方の組立と処方箋の発行のために必要な基本的事項について列挙できる。 薬物療法の留意点について学び、それをもとに教科書、参考書を活用して、与えられた症例に対する処方を組み立てる練習をする。 | 岩尾 一生 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

処方箋の発行に関する課題による評価

【教科書】

日本歯科用医薬品集 改訂第5版 必携！歯科の処方に役立つ本 永末書店

【備考】

その都度、プリントを配布する。

【学修の準備】

予習として、「日本歯科用医薬品集 改訂第5版 必携！歯科の処方に役立つ本」を読み、歯科で常用されている医薬品について基本的事項を理解しておく（40分）。

当日、実習で行った内容を復習する（40分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な知識をや悪学の観点から修得する（専門的実践能力）。

DP2. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を薬学の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を薬学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP4. 多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な知識を薬学の観点から修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を薬学の観点から修得する（社会的貢献）。

【実務経験】

岩尾 一生（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

薬剤師としての実務経験を活かした講義をすることで、歯科医療の現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。

(2026年度・歯学部)

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している